

社会福祉法人下毛もみじ会 グループホームとちの木
令和6年度第1回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所	社会福祉法人下毛もみじ会 グループホームとちの木	
グループホーム所在地	グループホームとちの木：中津市耶馬溪町大字柿坂	
	グループホームとちの木2：中津市万田	
会場	社会福祉法人下毛もみじ会 もみじ園会議室	
開催日時	令和7年3月12日（火） 14時30分～17時	
司会・記録	サービス管理責任者	連絡先：0979-54-3490

2. 出席者

地域	出席者
利用者（必須）	2名：柿坂ホーム1名、万田ホーム1名
利用者家族（必須）	2名
地域の関係者（必須）	1名：公民館長
福祉に知見のある人（任意）	1名：民生委員・主任児童委員
経営に知見のある人（任意）	
施設等所在地の市町村担当者等（任意）	1名：福祉支援課 障害福祉係主幹
施設職員	3名：管理者、副管理者、 サービス管理責任（利用者地域連携推進員 の意思決定補助）

3. 登録者の状況

定員数9名 入居者数9名（3月1日現在9
入居者の割合 男性：4名、女性：5名 計9名
障害支援区分 区分なし：8名、区分2：1名

4. 議題及び会議内容（次第）

- (1) 開会
- (2) 法人管理者より挨拶
- (3) 地域連携推進会議について
- (4) 出席者紹介
- (5) 議事概要
 - 1 施設・地域の連携
 - 2 施設等やサービスの透明性、質の確保
 - 3 利用者の権利擁護
 - 4 次年度（令和7年度）活動計画・案について
 - 5 グループホーム見学
 - 6 要望・助言について
- (6) その他意見交換

5. 議題報告

- (2) 法人管理者より、本会議の趣旨や経緯、令和7年度からは設置義務となる旨の説明があった。また、議事に入る前に各地域連携推進員への任命書交付があった。
- (3) 地域の連携推進会議については、既に配布済みとなっている資料「地域連携推進会議の手引き」を参考に説明をサービス管理責任者より行った。
- (4) 構成員（出席者）の紹介を平原管理者より行った。
- (5) 1、施設・地域の連携（入居者の障がい状況等、近隣からの苦情等の共有、地域行事）について、別紙参照していただき、障害特性や地域で取り組んでいること、苦情の受付と対応等についてサービス管理責任者より報告を行い、質疑を求めたが特に無かった。
2、施設等やサービスの透明性・質の確保（入居者の日常生活の様子について（別紙有）経営状況の報告、義業継続計画（BCP）の策定状況について（別紙有））について、別紙参照していただき、サービス管理責任者より日常生活、居室での様子、食事の様子、また、グループホームでそれぞれが自立に向けて取り組んでいることの紹介を行った。
災害時の対応等については、管理者より事業継続計画（BCP）、ハザードマップの説明を行い、各グループホームで災害訓練等実施については報告書を参照していただきながら、サービス管理責任者より内容の報告を行った。
管理者から「令和6年度事業計画（令和5年度事業実績）」をもとに今年度の施設の運営状況等について報告があった。特に、利用者及び保護者の高齢化に伴う新規利用者の受け入れ状況について報告があった。
- 3、利用者の権利擁護（事故・ヒヤリ・ハットの報告、支援者の様子（別紙有））については、職員（世話人）の役割や、防災、事故防止、感染症対策の取り組みについて管理者より説明を行った。
- 4、次年度（令和7年度）の活動計画・案について、会議開催は、年度内開催1回とし次年度の活動計画案について説明を管理者より行った。
- 5、会議終了後柿坂ホーム、万田ホームの見学を行い、施設内の案内を行った。
また、本会議の趣旨からも回数に拘らず普段から見学していただくことへの依頼を管理者より行った。
- 6、要望、助言等については、今回地域の関係者がグループホーム（柿坂ホーム）のみの参加となっていたので、万田ホームの地域の関係者を構成員に入れたほうが更に良い。

(6) その他意見交換

構成員より

- ・利用者の方も参加していることはとても良い、利用者の方に困りや要望の質問があったが、毎日楽しい、ご飯が美味しいとの声もあった。
- ・世話人さんが献立を決めて、季節の物を盛り込んだ手作りの食事がとても良い。
- ・利用者が実際生活をしている様子が見ることができて良かった、協力できることは今後も協力していきたい。

(7) 閉会を管理者が閉会を告げた。

令和7年3月12日

記録：グループホームとちの木 サービス管理責任者 瀬戸間ゆかり